

# News Letter



基調講演をいただいた  
板東久美子氏



平日にもかかわらず、大勢の  
方々にご来場いただきました



これまでの取り組みや、体験談を  
お話いただいたパネリストの皆さま

## 公開シンポジウム

### 「かがやく女性 輝く社会」を開催しました

平成26年11月27日(木)

去る11月27日 文部科学省女性研究者研究活動支援事業シンポジウム「かがやく女性 輝く社会」を開催しました。参議院議員(前文部科学大臣政務官)の上野通子氏をご来賓としてお越しくださり、ご挨拶と激励を賜りました。

女性がキャリアを重ねていく過程でどのような障壁や苦労があり、それらを乗り越えるために必要なことは何かを考えるこのシンポジウム。第一部では、基調講演として「男女共同参画の現状と女性の活躍」と題し、現在消費者庁長官で前文部科学審議官の板東久美子氏にご講演いただきました。統計資料を提示しながら、なぜ今女性の活用が必要なのか、日本における男女共同参画や女性活躍の現状、この事業の主旨である女性研究者の現状について、簡潔にわかりやすくお話しくださいました。さらにご自身の仕事と生活の様子をお話しいただき、長官と会場との距離が近づいた瞬間でした。

第二部では、多様な職業や世代のパネリストの方にご登壇いただき、「女性のキャリア形成を考える～栃木で活躍する女性たちと共に～」をテーマにそれぞれのお立場から具体的な体験談を交えながらのパネルディスカッションを行いました。登壇者は4名。女性医師のトップリーダーであ

り、グローバルな視点でプロフェッショナル育成とキャリア形成支援の仕組みを開発し実践しておられる国際医療福祉大学副学長桃井真理子氏、女性の特性・潜在能力を職場に見事に生かし業績をあげられた森山産業株式会社常務取締役仲澤佳子氏、家事と育児と仕事を両立し東京まで新幹線通勤、現在3人目のお子さまが生まれ育休中の花王株式会社ヘルスビューティ研究所羽毛田記子氏、力仕事は男性に、私には私の役割があるという林業女子で未来の女性研究者、東京農工大学大学院連合農学研究科相蘇春菜氏です。多様な経験から培った自信と、しなやかさが入り混じった話に、来場者は刺激を受けた様子で、「自分の生き方を見直せた」「たくさんの経験や苦難があって、それを乗り越えてきた人たちの言葉だと感じた」「女性が働くという事は、自分自身を犠牲にして働く、そう思っていた私には目からウロコでした」「人が大事で人を育てることが何より必須ということがわかった」など多くの感想が寄せられました。

第一部、第二部を通して、まさに今回のテーマであるすべての女性が輝ける社会へのヒントをいただいた素晴らしいシンポジウムとなりました。

女性研究者研究活動支援事業に採択されている大学や研究機関が集まり、一橋講堂（東京都千代田区）にて合同シンポジウムが開催されました。全国から約80の機関が集まり、活動内容をポスターで掲示したり、分科会や基調講演などが行われ、女性研究者支援について考えました。

❖当事者意識の醸成が改革のカギ❖

午前中は、分科会が行われ、6つのテーマでディスカッションしました。宇都宮大学が参加した「意識改革」のグループでは、男性も女性も意識改革が必要であり、当事者意識の醸成が改革のカギになるのではないかという意見が出たほか、逆差別という考え方や対等に扱ってほしいという意識から、女性の中には制度を利用したり相談することをためらう人も



↑ 宇大の掲示ポスター

おり、支援者と女性研究者の信頼関係の構築、研究者同士のネットワークの構築が重要であるという意見もできました。また、性別役割分業意識に関して、若い世代の中で肯定派が増えている現状を踏まえ、学生にも男女共同参画意識を高める機会をつくる必要があるとし、三重大学が開催した「100人男子会×女子会」が紹介され、参加者が興味深く運営方法に耳を傾けました。

❖戦略的な取り組みを❖

午後は、日本アイ・ビー・エム株式会社社長の橋本孝之氏により「IBMの経営とダイバーシティ」と題した基調講演がありました。IBMではクォータ制を導入し、戦略的に女性の活躍を促進してきました。先進的な取り組みを進めるうえで重要視しているのはダイバーシティ。橋本会長は「多様な意見を取り入れることによって、新しい気づきが生まれ、企業変革につながっていく。ダイバーシティは企業の成長に欠かせない原動力である。」と強調されました。

【IBMが取り組むダイバーシティ】

- ①女性の活躍
- ②障がいを持つ社員の能力発揮
- ③性的マイノリティの社員が意欲的に働くことができる環境整備
- ④外国籍社員の活躍支援
- ⑤ワーク・ライフ・バランスの推進

おすすめ Books

貸し出し 月～金

information

支援室では、生き方や働き方、育児や介護などさまざまなジャンルの本を貸し出し中です。蔵書はHPで確認できます。ぜひご利用ください。



日本の女は、100年たっても白い。

著者：深澤 真紀 (ベストセラーズ)

「草食男子」の名付け親で自称女オンチな著者が語る偏愛女性図鑑。

で。「面白い日本の女」の姿を紹介してくれる。

青鞥、モガ、だめんず、負け犬、こじらせ女子ま

今の自分と照らし合わせて読んでみたい本。



心をつなげる

著者・編集：アンドリュー・ニューバーグ、マーク・ロバート・ウォルドマン (東洋出版)

こころとの付き合い方はこれ1冊で完璧。一精神科医・名越康文 米国気鋭の脳神経学者が、最新の科学研究に基づき、「心がつ

ながる仕組み」とその「技法」を丁寧に紐解いた画期的な書。コミュニケーションの質が飛躍的に高まる、各界で話題！

女性研究者が実際に体験した困りごとを紹介します。情報提供ありがとうございました。

Q.結婚で名前が変わったけれど、これまでの活動実績もあるし、仕事は旧姓のままつづけたいな。旧姓も併記してパスポートを発行できないの？

解決

併記は可能！

次のような提出書類が必要です。

- ①海外で開催された学会のフルネームが記載されている発表抄録のコピー（表紙と該当ページ）と、フルネーム入りで当該学会から発行された参加・発表証明書 (certificate) のコピー
- ②①が直近の発表でない場合、直近の発表のフルネームが記載されている発表抄録コピー（表紙と該当ページ）

※自治体により対応が違う可能性があります

【編集・発行】

宇都宮大学 女性研究者キャリア支援室 (Fe-le)

<http://kyodo-sankaku.utsunomiya-u.ac.jp/>

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350 5号館3階

TEL・FAX：028-649-5151

e-mail：gender@cc.utsunomiya-u.ac.jp

宇都宮大学 参画

検索



HP はこちらからでもアクセスできます→

Facebook はじめました  
←こちらからどうぞ

